

なんといっても 愛情をほしい……



仲間を捨てる人間が……

僕の名前は弁慶。今年で満4歳。人間でいうと二十八歳位かな。自分で云うのもなんだが、名前と顔に似合わず、気はやさしくて力もち……。

子どものころから、ずっとこの家に住んでいるんだ。

主人は、夫が好きで僕のことをとてもよく面倒みてくれる。家には、僕のほかにノブというボクサーもいる。彼はもう十年近くもいるから、人間でいうと八十歳位になるんじゃないか。人間の世界では、「敬老の日」というものがある。お年寄をいたわってくれるそうだけど。主人もノブをととても可愛がっているよ。

そういえば、犬にも「動物愛護週間」というものがある。動物を可愛がるう“なんて叫ばれるんだ。九月二十日から二十六日までだそうだけど、一

週間ばかりじゃなく、ずっと可愛がってほしいよ。

そういえば最近、われわれの仲間を捨てる人間が多いようだ。この間もうちの前へ小犬を捨てていった人間がいたんだ。こんなことはしてほしくないね。

散歩はいいねー

僕の大好物は鳥肉。ゼいたくかもしれないけど……。いつもはドックフードと牛乳。楽しみは、二回の食事と毎日の散歩かな。主人が仕事から帰ると散歩に連れていってくれるけど、なんといつても運動することは気持ちいいねー。それに、世間のこともよくわかるから。仲間には、運動させてもらえなくて、ムシヤクシャしているやつもいるよ。こんなときは、人間にかみつきたくなるんだよなー。

これとは反対に、放し飼いになっているやつもいるそう。人間の作ったサツマイモやニンジンなどを荒らすよ。うだけれど、よくないことだな。

それから、住所不定の仲間もふえてくるようだけど……。人間が仲間を捨ててしまう——こんなことをしちゃいけないな。

僕は週に一度か二度位、主人にからだを洗ってもらうけれど、これは気持ちいいねー。特に夏は虫がつくから、きれいにしておいてほしいよ。僕たちにとって、食事・散歩・しつけは当然ながら、なんといつても主人の愛情をほしいよ。そこから信頼感が生まれると思う。

あの街



わが街



1年前に大阪府吹田市から蓼原に
来られた 滝北貴子さん (29歳)

——富士市の第一印象をまず……。

滝北 富士山が素敵。こんなにも美しく雄大な山が見られていいところですね。でも、聞いてはいたけど公害がひどいですね。特に悪臭が強くてまいてしまうワ。

——大阪にも公害はあるのでは。

滝北 ええあることはあります。でも、こんな悪臭はしないワ。もし大阪だったら市民がだまっちはないわヨ。富士市民はなぜだまってるのかなあと思います。

——市民についてほかに感じることは。

滝北 新しく来た人をよそ者として扱うところがあるようです。でも私たち転入者の側にも積極的に地域活動に参加をしないなど、自分たちがそうしていることも反省しないと。

——富士市に望むことは……。

滝北 何といつても臭くないまちにしてほしいワ。それと文化水準をもっと高めてほしいですね。

家庭の主婦に魅力ある催しや、もっと気軽に参加できるスポーツ教室なども大いにやってほしいです。